

2022年3月16日

関係各位

マネックス証券株式会社

「MONEX 個人投資家サーベイ 2022年3月調査」

～日経平均、ダウ平均株価の高値安値予想と、有事の際の投資スタンス～

マネックス証券株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：清明祐子、以下「マネックス証券」）は、2022年3月4日から3月8日までインターネットを通じて、マネックス証券に口座をお持ちのお客様向けにアンケート調査（回答数531件）を実施しました。

今回、定例調査である個人投資家の相場観の調査に加え、特集として「2022年の日経平均、ダウ平均株価の高値安値予想」と「個人投資家としての有事の捉え方と投資スタンス」について調査しました。

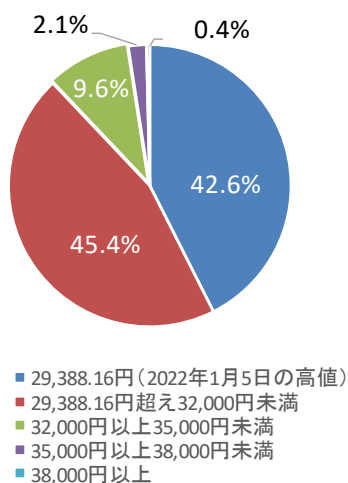
<調査結果概要>

【特別調査】

1. 2022年の日経平均、ダウ平均株価の高値安値予想

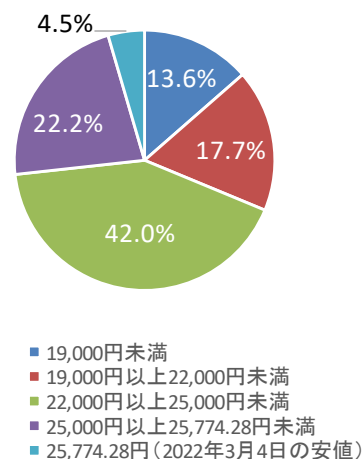
1-1. 2022年の日経平均株価見通し、高値予想は「29,388.16円超え 32,000円未満」が最多
【3月15日の終値：2万5,346円】

グラフ1-1: 日経平均最高値予想



(出所) マネックス証券作成

グラフ1-2: 日経平均最安値予想



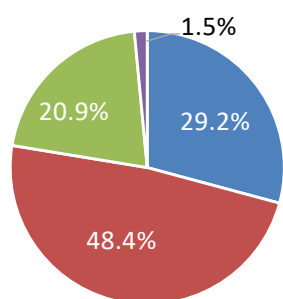
(出所) マネックス証券作成

2022 年の日経平均株価の高値と安値予想を尋ねました（調査開始日 3 月 4 日終値は 25,985.47 円）。2022 年の日経平均株価の高値予想は「(2022 年に入ってからの高値である) 29,388.16 円を超え 32,000 円未満」の割合が 45.4%と最も高くなりました。続いて割合が高かったのが「(2022 年に入ってからの高値である) 29,388.16 円」の 42.6%で、この 2 つの回答で 90%近くと、多くの個人投資家が今年の高値にあまり強気でないことがわかりました。また、日経平均株価の安値予想は「22,000 円以上 25,000 円未満」の割合が最も高くなり、調査開始時点の日経平均株価の「25,744.28 円」よりも一段の株安を予想している投資家が多いことがわかりました。

1-2. 2022 年のダウ平均株価見通し、高値予想は「36952.65 ドルを超え 38,000 ドル未満」が最多

【3 月 15 日の終値：3 万 3,544 ドル】

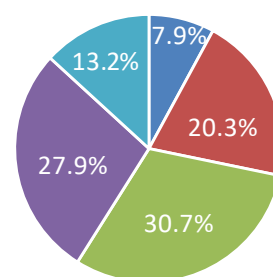
グラフ2-1:ダウ平均最高値予想



- 36952.65ドル (2022年1月5日の高値)
- 36952.65ドルを超え38,000ドル未満
- 38,000ドル以上42,000ドル未満
- 42,000ドル以上

(出所) マネックス証券作成

グラフ2-2:ダウ平均最安値予想



- 23,000ドル未満
- 23,000ドル以上27,000ドル未満
- 27,000ドル以上31,000ドル未満
- 31,000ドル以上32,272.64ドル未満
- 32,272.64ドル (2022年2月24日の安値)

(出所) マネックス証券作成

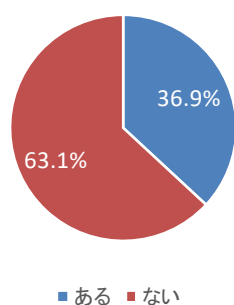
2022 年のダウ平均株価の高値予想は「(2022 年に入ってからの高値である) 36,952.65 ドルを超え 38,000 ドル未満」の割合が 48.4%と最も高くなりました。また、ダウ平均株価の安値予想は「27,000 ドル以上 31,000 ドル未満」の割合が最も高くなりました。

2. 個人投資家としての有事の捉え方と投資スタンスについて

特別調査の 2 つ目として昨今のウクライナ情勢に直面している皆様に個人投資家としてどのように有事を捉え、対処しているかをたずねました。

2-1. 過去の有事の際に従来とは異なる投資スタンスを取った割合は 36.9%。

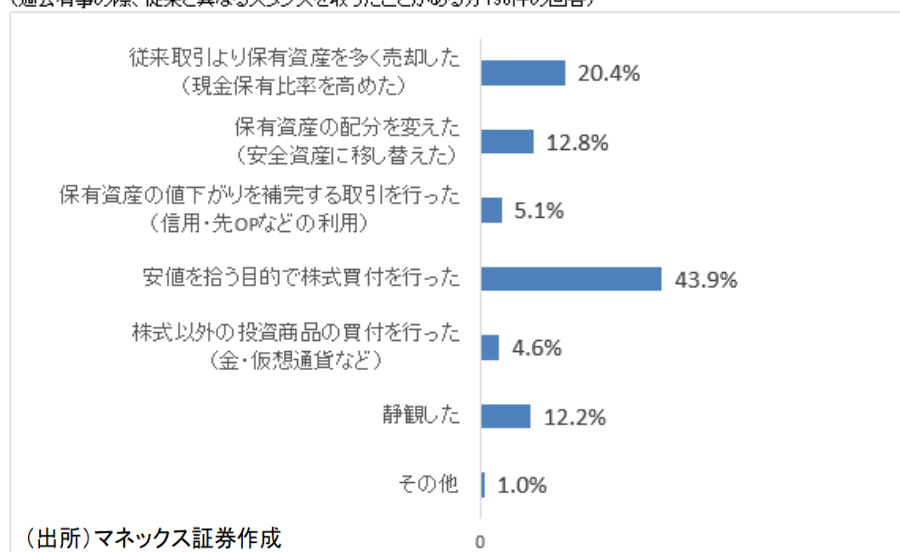
グラフ3-1: 有事の際、従来と異なる投資スタンスをとったことは？



(出所) マネックス証券作成

グラフ3-2: 過去有事の際に取った投資スタンスは？

(過去有事の際、従来と異なるスタンスを取ったことがある方 196 件の回答)

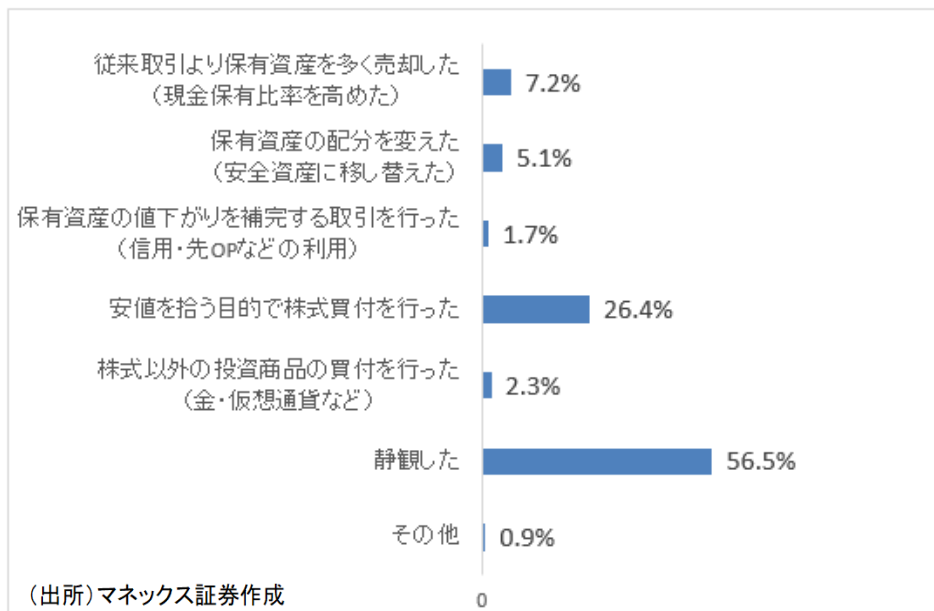


(出所) マネックス証券作成

過去『有事』と一般的に呼ばれた時、従来とは異なる投資スタンスをとったことがあるかをたずねました。「ある」と回答した割合は 36.9%、「ない」と回答した割合は 63.1%で多くの投資家がスタンスを変えたことがないと回答しました。

2-2. ウクライナ侵攻でマーケットが不安定な中の投資スタンスは「静観した」が最多

グラフ3-3: 今取っている投資スタンスは？



【定例調査～個人投資家の相場観について～】

3. 日本、米国、中国のDIについて

今後3ヶ月程度の各国（日本、米国、中国）の株式市場に対する個人投資家の見通しは、日本株DIと米国株DIが前回調査から大きく低下した一方で、中国株DIは若干上昇しました。米国株や日本株の大幅下落を受け弱気な投資家が増えたようです。

【日本株DI】(2021年12月) 18→(2022年3月) -17 (前回比-35ポイント)

【米国株DI】(2021年12月) 56→(2022年3月) 28 (前回比-28ポイント)

【中国株DI】(2021年12月) -28→(2022年3月) -21 (前回比+7ポイント)

※ DI: DIとは、相場が「上昇すると思う」と回答した割合(%)から「下落すると思う」と回答した割合(%)を引いたポイントです。DIがプラスとは、「上昇すると思う」と回答した割合が高く、DIがマイナスとは、下落すると思うと回答した割合が高いことを示します。

4. 為替市場について

今後3ヶ月程度の米ドル／円相場の見通しについて、「円安になると思う」と回答した個人投資家の割合は53%と前回調査の58%から低下しました。「変わらないと思う」と回答した割合は1%増加し、「円高になると思う」と回答した割合は4%増加しました。足元の米ドル／円は円安に振れていますが、「有事の円買い」で円高が進むと予想する投資家が増えたのかもしれない。

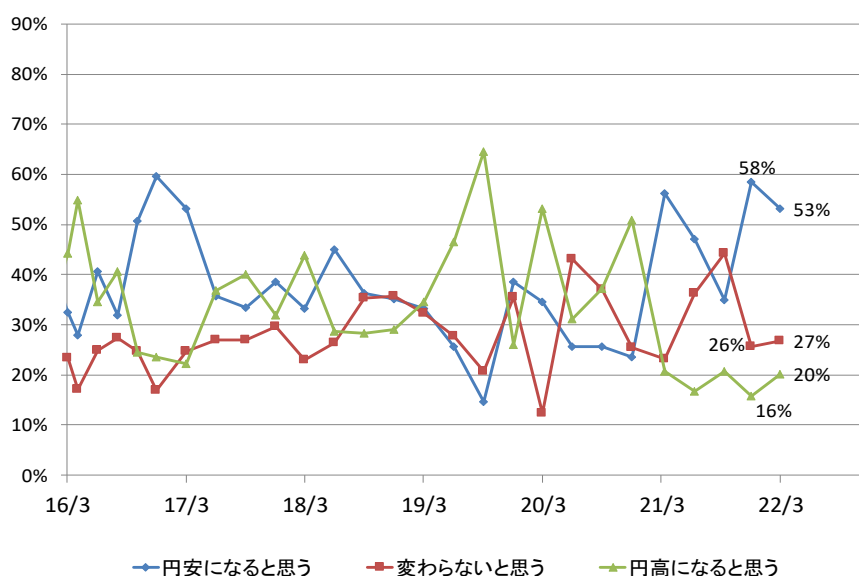
【円安になると思う】(2021年12月) 58% → (2022年3月) 53% (前回比-5%)

【変わらないと思う】(2021年12月) 26% → (2022年3月) 27% (前回比+1%)

【円高になると思う】(2021年12月) 16% → (2022年3月) 20% (前回比+4%)

(グラフの数値は、小数点以下の計算により合計が必ずしも100.0%とならない場合があります。)

グラフ5: 今後3ヶ月程度の米ドル／円相場予想



(出所) マネックス証券作成

以上

添付：MONEX 個人投資家サーベイ 2022年3月調査

【マネックス証券でのお取引に関する重要事項】

マネックス証券が扱う商品等には、価格変動等により元本損失・元本超過損が生じるおそれがあります。投資にあたっては、契約締結前交付書面、目論見書の内容を十分にお読みください。

【マネックス証券株式会社について】

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第165号
 加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 第二種金融商品取引業協会、
 一般社団法人 金融先物取引業協会、一般社団法人 日本暗号資産取引業協会、
 一般社団法人 日本投資顧問業協会